

# なつほのか通信 Vol.4



続々と出穂が始まっています!

2021.8月発行

5月に田植えを行ったほ場や、標高が高いほ場では続々と出穂が始まっています。標高の低い平坦地でも8月下旬には出穂期を迎える見込みです。

下記のいもち病及び出穂後はカメムシの飛び込みにも要注意です。



杵築市山香町  
(8月10日撮影)

## いもち病に嚴重警戒を!!

8月10日付けでいもち病の注意報が県内全域に発表されています。

葉いもちが多発している場合は即時の防除と追肥の減量を、また、穂いもちの発生を防ぐために、穂ばらみ期と穂揃期の液剤または粉剤による2回防除を確実に実施しましょう。

その他の病害虫についても、病害虫対策チームが公表している発生予察情報を参考に適期防除に努めましょう。



### いもち病の症状



病害虫対策チーム 原図

## 生育調査結果

水田グループにおける  
8月5日時点の生育(暫定値)

品種	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD値)
なつほのか	86	435	36.1
ヒノヒカリ	80	416	34.3
つや姫	86	425	40.7

6月21日移植。栽植密度15.2株/m<sup>2</sup>。基肥窒素施用量 4g/m<sup>2</sup>。  
なつほのか追肥：8月2日、窒素 3g/m<sup>2</sup>。

## 技術者研修会(第2日)

平坦地(宇佐市)における研修会を7月26日に開催し、現地の生育状況の把握に加えて、室内で各実証ほについての情報共有も行いました。



作成者：大分県農林水産部 水田畑地化・集落営農課 (☎097-506-3596)  
農林水産研究指導センター 水田農業グループ (☎0978-37-1160)